

平成31年度 皆野町一般会計予算大綱

平成31年3月12日
皆野町長 石木戸 道也

1 予算編成の基本的な姿勢

平成29年4月に策定した第5次皆野町総合振興計画では、将来像として「住んでみたいまち、住み続けたいまち、ときめきの皆野」を掲げています。人口減少が進行している状況を踏まえ、平成30年度に引続き、多くの方々に選ばれる町にしていくための施策が必要となります。

また、平成27年度に策定した「皆野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、総合戦略）は平成31年度が計画期間の最終年度となります。そのため、総合戦略で示されている重要業績評価指数（KPI）の達成と、これまでの取組の仕上げを意識することが重要になります。

これらを踏まえつつ、全課・局において「最小の経費で最大の効果」をあげること強く認識し、実効性を厳しく検証したうえで予算編成を行いました。

2 予算規模

平成31年度当初予算	歳入歳出総額	4,111,780千円
平成30年度当初予算	歳入歳出総額	4,029,900千円
	比較	+81,880千円（102.03%）

3 重点施策

第5次皆野町総合振興計画における主要目標5項目を引続き推進するとともに、総合戦略の目標達成を意識し、次の施策を重点的に取組みます。

- I 楽しく子育て・元気で長生き対策
- II 教育・文化・スポーツの推進
- III 環境保全、産業・観光振興
- IV 安全で快適な生活基盤の整備
- V 出会いスポット事業の推進

4 重点施策の主な事業

重点施策に関連する主な取組と予算額は次のとおりです。

I 楽しく子育て・元気で長生き対策

○健康・福祉・子育て支援・高齢者福祉の充実

- | | |
|--|-------------------|
| (1) 学童保育所保育料助成 新規 | <u>2,520 千円</u> |
| 町民税非課税世帯、生活保護世帯及び第3子以降の保育料相当額（月額6,000円）を助成。 | |
| (2) 保育料第3子以降無料化 | <u>6,300 千円</u> |
| 中学生から児童を年齢の高い順に数え、3人目以降の児童が入所する場合の保育料は無料。 | |
| (3) 子どものための教育・保育委託料 | <u>225,600 千円</u> |
| 皆野町では保育料を国の基準より低く設定。（児童1人につき月額0円～44,100円 ※世帯所得等により異なる） | |
| (4) こどもの医療費 | <u>30,000 千円</u> |
| 平成29年度から高校3年生までが対象。秩父郡市内の医療機関で受診した場合は窓口払い無し。 | |
| (5) 子育て応援 | <u>2,355 千円</u> |
| 新生児の誕生月から1歳の誕生月まで、毎月紙おむつ2パックまたは粉ミルク1缶を支給。 | |
| (6) 出産褒賞金 | <u>3,400 千円</u> |
| 第1子：3万円、第2子：5万円、第3子以降：10万円 | |
| (7) 不妊治療費助成 | <u>2,320 千円</u> |
| 不妊治療や不妊検査の治療費の一部を助成。平成30年度から特定不妊治療の助成上限額を35万円に拡大。 | |
| (8) 長寿祝金 | <u>10,020 千円</u> |
| 80歳・85歳・88歳・90歳・95歳・99歳・100歳になるかたに長寿祝金を支給。 | |
| (9) 高齢者外出支援タクシー利用料金助成金 | <u>2,100 千円</u> |
| 町内全域の利用を対象として「おでかけタクシー利用券」を配付。 | |

○健診受診率の向上

- | | |
|--|------------------|
| (1) 住民健診・がん健診 拡大 | <u>21,400 千円</u> |
| 健診を無料で実施。平成31年度からは40歳・50歳・60歳・70歳を対象として歯周疾患健診をメニューに追加。 | |
| (2) 妊婦健診 | <u>6,306 千円</u> |
| 妊婦健診費用を14回分助成。助成券は母子健康手帳と同時に交付。 | |
| (3) 乳幼児健診 | <u>3,811 千円</u> |
| 乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診のほか、育児相談等を実施。 | |
| (4) 糖尿病早期発見 | <u>215 千円</u> |
| HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）測定費用の一部を助成。薬局への測定機器設置費用の一部助成も実施。 | |

Ⅱ 教育・文化・スポーツの推進

○教育（学習環境の整備・学力向上・グローバル教育）

- (1) 皆野幼稚園遊戯室へのエアコン設置 **新規** 3,630 千円
安全に園児を預かる環境を整えるため、幼稚園遊戯室へエアコンを設置。
- (2) みな英語ランド事業 1,126 千円
グローバル人材の育成を図るため、外国語活動におけるコミュニケーションを推進。
- 英語スポーツフェスティバル
- 英語でクッキング
- イングリッシュキャンプ
- 英語ハロウィン事業 **新規**
- (3) ALT委託による外国語授業の実施 3,588 千円
従来取組に加え、平成32年度学習指導要領への移行措置として小学5・6年生の外国語授業を実施。
- (4) 修学旅行ALT同行 320 千円
中学生の修学旅行の班別研修で外国人留学生と行動し、英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。
- (5) 英語検定受験料補助 402 千円
中学3年生時に英検3級取得を目標とする。
- (6) 三沢小学校特別教室床改修工事 **新規** 1,500 千円
音楽室、図書室、放送室のカーペットを張り換えるほか、校長室のカーペットを床に改修。
- (7) 食物アレルギー等診断書料補助金 **新規** 80 千円
学校における食物アレルギー対応の充実を図り、重大事故防止に努める。

○文化

- (1) デジタルミュージアム作成業務委託 **新規** 742 千円
名誉町民である金子兜太氏や秩父音頭にゆかりのある品について、写真と解説をインターネット上に掲載。
- (2) 前原の不整合遊歩道整備工事 2,052 千円
国指定天然記念物である前原の不整合について、遊歩道を整備し、歴史学習や見学場所として活用を図る。

○スポーツ（マレットゴルフ場の整備） **新規**

- (1) マレットゴルフ場設計業務委託 3,850 千円
平成32年度の建設を目指し、平成31年度は設計を行う。
- (2) マレットゴルフ場建設用地の確保 19,684 千円
建設用地として、約14,000㎡を確保。

Ⅲ 環境保全、産業・観光振興

○環境保全

- | | |
|-------------------|----------|
| (1) 有害鳥獣対策 | 2,570 千円 |
| (2) 空家等対策協議会委員報償金 | 154 千円 |

○産業・観光振興

- | | |
|---|-----------|
| (1) 町営バス発着所改修工事 新規 | 32,732 千円 |
| 外壁を木質化し、地域のシンボルとしてふさわしい外観へと改修する。また、観光案内の充実や、多機能トイレを備えた観光トイレへと改修する。加えて、2 階部分を地域おこし協力隊の事務所兼移住相談センターとする。 | |
| (2) 鴻巣市との連携“花とまつり”による交流事業 新規 | 379 千円 |
| 本町同様ポピーで有名な鴻巣市との連携を進める。「このす花まつり」への出展や、パンフレットの共同作成を行う。また、本町のオープンガーデンを巡るバスツアーを企画する。 | |
| (3) 日野沢地域の観光魅力アップ事業 新規 | 2,023 千円 |
| 秩父華厳の滝のライトアップ期間を延長するため、電源設備を恒久化する。また、新たなハイキングルートを開拓する。 | |
| (4) ぼろたん栗等を活用した特産品開発 新規 | 1,100 千円 |
| 町 PR のために必須となる特産品を開発する。大学と連携し、ぼろたん栗等を利用したご当地カクテルの開発に繋げる。 | |

Ⅳ 安全で快適な生活基盤の整備

○緊急車両通行不能路線の解消、歩行者の安全向上、踏切拡幅工事

- | | |
|---|------------|
| (1) 道路・橋りょう維持・整備事業 | 222,788 千円 |
| 町道皆野 59 号線（ヤオコー裏側）踏切拡幅統廃合工事負担金として 67,772 千円を計上。 | |

○自主防災・防犯活動の推奨と支援

- | | |
|----------------------|----------|
| (1) 自主防災組織補助金 | 150 千円 |
| (2) 自主防犯パトロール団体資機材整備 | 216 千円 |
| (3) 災害備蓄物資購入 | 1,311 千円 |

Ⅴ 出会いスポット事業の推進

- | | |
|--|----------|
| (1) 旧日野沢小学校跡地 観光施設整備設計業務委託 新規 | 3,024 千円 |
| リバーサイドレジャーに対応した、出会い・ふれあいの施設として整備。平成 32 年度の建設を目指し、平成 31 年度は設計を行う。 | |
| (2) まち婚サポート推進事業補助金 増額 | 400 千円 |
| 商工会青年部が実施する婚活イベントを推進。平成 30 年度に比べて 10 万円を増額。 | |

5 一般会計予算の概要

(1) 歳入

○自主財源

前年度当初予算と比較して 170,623 千円増額の 1,772,758 千円を計上し、歳入全体に占める割合は 43.1%となりました。

中でも款 19 繰入金は、前年度と比較して 166,352 千円を増額しています。基金を活用すべく、公共施設整備基金繰入金（222,456 千円）や財政調整基金繰入金（262,470 千円）等を計上しています。

○依存財源

前年度当初予算と比較して 88,743 千円減額の 2,339,022 千円を計上し、歳入全体に占める割合は 56.9%となりました。

主たる依存財源である款 11 地方交付税は、地方創生の取組成果を重視する算定方法へのシフトや、交付税検査による錯誤分の調整等により、前年度に比べて 75,056 千円の減額を見込んでいます。また、自動車税制の見直しにより、新たに款 9 環境性能割交付金を計上しています。

○主な費目の概要

款 1 町税

前年度から 17,277 千円増額の 1,059,155 千円を計上しました。所得の増大による町民税所得割の増額、及び平成 30 年度課税実績に基づく固定資産税償却資産分の増額を見込んでいます。

款 6 地方消費税交付金

県から示された交付見込額を踏まえ、前年度から 1,900 千円増額し 176,700 千円を計上しました。うち、一般財源分として 108,300 千円を、社会保障分として 68,400 千円を見込んでいます。

款 8 自動車取得税交付金 及び 款 9 環境性能割交付金

10 月に予定されている消費税率 10%への引上げに伴い自動車取得税が廃止されることから、町への自動車取得税交付金の算定の基となる期間が従来の半分になります。そのため、前年度から 12,367 千円減の 6,733 千円を見込んでいます。

なお、代替として新設される車体課税制度である「環境性能割」により、町へは環境性能割交付金が交付されます。こちらは 2,697 千円を見込んでいます。

款 11 地方交付税

前年度から 75,056 千円減額の 1,298,509 千円を見込んでいます。平成 30 年 10 月に実施した交付税検査により、平成 26 年度から平成 29 年度分までの錯誤調整が図られます。また、平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 年間で、普通交付税において地方創生の取組成果を重視する算定方法へとシフトしてきています。

款 13 分担金及び負担金

国の施策に基づき、10 月から幼児教育の無償化が実施されます。これに伴い、保育所児童保護者負担金について、前年度から 15,743 千円の減額を見込んでいます。これを受け、款 13 全体では前年度から 17,731 千円の減額となる 59,068 千円を見込んでいます。

款 15 国庫支出金

前年度に比べて 5,355 千円増額となる 333,529 千円を計上しました。増額の主な要因は、子どものための教育・保育給付費国庫負担金（前年度から 8,001 千円の増額）、障害者自立支援給付費国庫負担金（同 6,498 千円の増額）等、民生費国庫負担金の増です。いずれも実績に基づき積算しています。

款 16 県支出金

前年度に比べて 42,696 千円増となる 303,022 千円を計上しました。増額の主な要因は、ふるさと創造資金県補助金 18,300 千円の計上です。対象事業を多く予定していることから、前年度より 11,000 千円増額して計上しています。

款 18 寄附金

平成 30 年 10 月にふるさと納税の返礼割合を 3 割以下に見直しました。それ以降の実績も鑑み、前年度同額を計上しています。

款 19 繰入金

前年度より 166,352 千円増となる 485,626 千円を計上しています。基金の活用を進めるため、公共施設整備基金や財政調整基金の繰入を増額しています。

款 22 町債

普通交付税の代替財源である臨時財政対策債 112,700 千円と、上水道広域化施設整備事業出資のための衛生債 35,100 千円を計上しています。

(2) 歳出

款 1 議会費

職員の異動に基づく人件費の増額があったほかは、前年度とほぼ同様の計上となっています。

款 2 総務費

前年度から 33,773 千円増額となる 609,517 千円を計上しています。増額の主な要因は、町営バス発着所改修工事費 32,732 千円の追加です。

款 3 民生費

障害者自立支援給付費負担金や国民健康保険特別会計保険基盤安定繰出金等が増額となる中で、学童保育所無料化を取りやめることから学童保育所サポート事業委託料（前年度計上額：14,400 千円）を皆減しています。また、老人福祉センター長生荘の風呂改修工事費（前年度計上額：14,256 千円）の皆減等もあり、款 3 民生費全体では、前年度から 4,671 千円減となる 1,277,201 千円を計上しています。

款 4 衛生費

前年度から 37,311 千円減となる 318,383 千円を計上しています。秩父広域市町村圏組合への上水道広域化施設整備事業出資金が前年度に比べて 23,900 千円減額となっているほか、予防接種健康被害扶助費（前年度計上額：5,407 千円）が対象者不在となったため皆減となっていることが減額の主な要因です。

款 5 労働費

住宅リフォーム資金助成金や労働関係団体負担金等、前年度と同額の計上となっています。

款 6 農林水産業費

水と緑のふれあい館閉館に伴い、関係経費 6,377 千円が減額になっています。一方で、林道整備費が前年度に比べて 6,427 千円の増額となるほか、大淵農業用水路補修工事費 3,300 千円の追加等があり、款 6 農林水産業費全体では前年度より 8,613 千円増額となる 92,949 千円を計上しています。

款 7 商工費

前年度と比べて 4,654 千円増額の 60,810 千円を計上しています。旧日野沢小学校跡地観光施設設計業務委託料 3,024 千円の追加が増額の主な要因です。

款 8 土木費

491,377 千円を計上しています。前年度に計上した町道金沢 1 号線舗装補修工事費 (36,400 千円) の減や、町道改良に伴う物件補償金が 17,244 千円の減額となる一方で、町道皆野 59 号線踏切拡幅統廃合工事負担金 67,772 千円が追加となっており、款 8 土木費全体では前年度と比べて 9,737 千円増額となっています。

款 9 消防費

前年度と比べて 12,893 千円増額の 238,434 千円を計上しています。秩父広域市町村圏組合消防費負担金が 8,515 千円増額となっているほか、町道改良に伴う防火水槽の新設工事費 3,000 千円の追加等が増額の主な要因です。

款 10 教育費

前年度と比べて 64,390 千円増額の 596,559 千円を計上しています。文化会館ホール照明設備更新工事費 48,730 千円の追加等が増額の主な要因です。

款 12 公債費

338,970 千円を計上しています。平成 20 年度債の辺地対策事業債、臨時財政対策債等、過去の起債に係る償還の終了により、前年度と比べて 13,706 千円減額となっています。

6 基金残高

(単位：千円)

基金名	平成 30 年度末 現在高 (見込)	平成 31 年度中の増減		平成 31 年度末 現在高 (見込)
		積立額	繰入額	
財政調整基金	570,894	2,045	262,470	310,469
減債基金	447,849	320		448,169
災害見舞基金	7,544	100		7,644
地域福祉基金	199,742	87		199,829
公共施設整備基金	620,403	91	222,456	398,038
ふるさと水と土保全対策基金	2,046	1		2,047
図書購入基金	5,745	1	700	5,046
学校教育施設整備基金	1,809	505		2,314
合計	1,856,034	3,150	485,626	1,373,556

※千円単位で表示する都合上、合計欄の額が各基金の額を足したものと合わない場合があります。